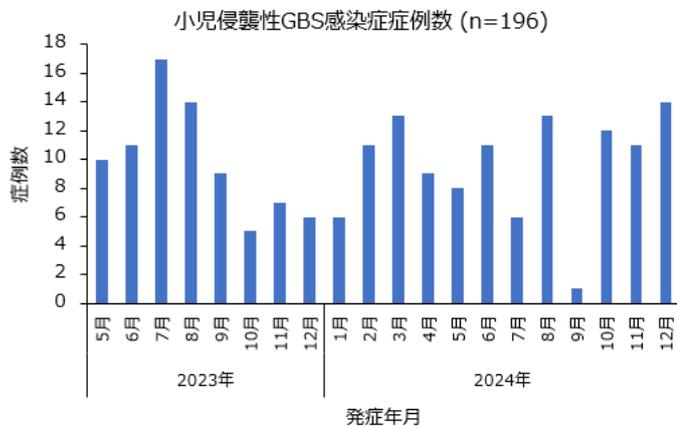


平素より当研究にご賛同・ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

2023年5月～2024年12月までに御登録いただきました、計196例の小児侵襲性GBS感染症疫学情報（暫定値）を報告いたします。

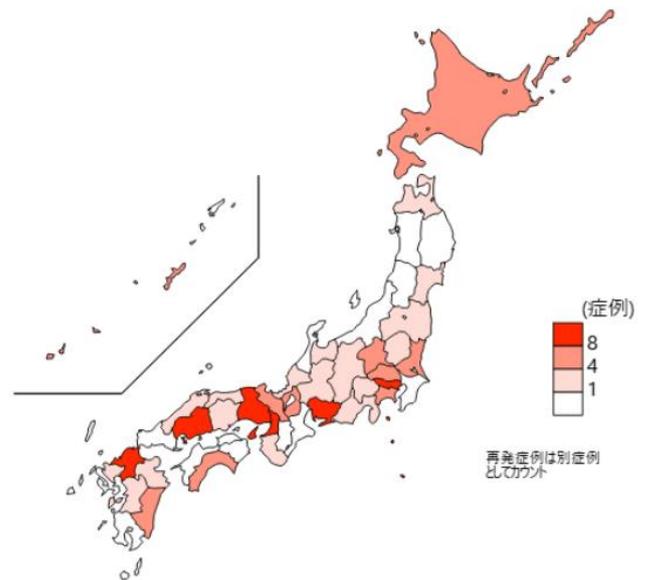
・研究対象患者：15歳以下の小児で無菌検体からB群連鎖球菌（GBS）が検出された患者

(1) 発症年月別小児侵襲性GBS感染症報告数
(n=196, 2023年5月～2024年12月)



(再発例は別症例としてカウントしています。)

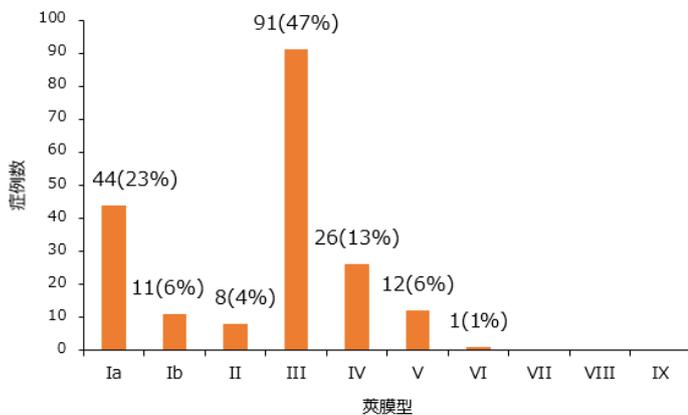
(3) 各都道府県における症例数分布 (n=196)



(2) 莢膜型分布

(n=193, 報告時解析分のみ結果)

本研究に登録された症例から検出された莢膜型の割合 (n=193)



研究班からのメッセージ

- 多数の症例登録にご協力いただきまして、心より感謝申し上げます。ゲノム解析結果を順次返却しておりますが、ご不明な点がございましたら遠慮なく研究班までご連絡ください。
- 研究責任者や担当者をご異動される際には、事務局にご連絡ください。感染研の倫理委員会にて責任者変更を行います。
- 引き続き小児の侵襲性GBS感染症が発生しましたら igbs-japan@nih.go.jp へご連絡下さい。

研究班 HP <https://igbs.jp/>



研究代表者 菅井 基行

主任研究員 中野 哲志、笠井 正志

芝田 明和、大竹 正悟